

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名：一般国道16号 <small>ほちおうじかくふく</small> 八王子拡幅	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局			
起終点：自：東京都八王子市中野上町 <small>とうきょうとほちおうじしなかのかみちよう</small> 至：東京都八王子市左入町 <small>とうきょうとほちおうじしさにゆうまち</small>	延長：2.7km				
事業概要： <p>国道16号は東京環状道路とも呼ばれ、横浜市、相模原市、八王子市、さいたま市、千葉市など都心から30～40km圏の主要な都市を通過する延長約330kmの重要な道路である。八王子拡幅は、交通渋滞の緩和、安全・快適性の向上、緊急輸送道路ネットワークの確保、土地区画整理事業への寄与を目的とした延長2.7kmの拡幅事業である。</p>					
S54年度事業化	S36及びS39年度都市計画決定 (S51年度都市計画変更)	S55年度用地着手	S60年度工事着手		
全体事業費	約177億円	事業進捗率	94%	供用済延長	1.7km
計画交通量	33,700～46,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.5 (残事業) 7.7	総費用：(残事業)/(事業全体) 13/276億円 事業費：9.4/268億円 維持管理費：3.2/8.5億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 97/424億円 走行時間短縮便益：93/363億円 走行費用減少便益：3.5/41億円 交通事故減少便益：0.58/20億円	基準年：平成26年	
感度分析の結果 <p>【事業全体】 交通量：B/C=1.00～1.8 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5～1.5 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.6 (事業期間±1年)</p> <p>【残事業】 交通量：B/C=7.1～8.5 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=7.1～8.3 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=7.4～7.8 (事業期間±1年)</p>					
事業の効果等 <p>①交通渋滞の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道16号（八王子拡幅区間）の損失時間は202.8千人時間/年・kmで全国平均の約8倍。 ・2/4車線区間の拡幅整備により、国道16号の渋滞の緩和が見込まれる。 <p>②安全・安心な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道16号（八王子拡幅区間）の死傷事故率は、165.2件/億台・kmであり、全国平均の約1.6倍。 ・死傷事故率の高い2/4車線区間の拡幅整備により、事故の減少が期待される。 <p>③歩行者の安全性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺人口は近年30年で約1.5倍も伸び、通学や八王子駅へのアクセスにより歩行者・自転車の交通量は約5.8千台/日に及ぶ。 ・車道と歩行者や自転車の空間が未分離の区間があり、自歩道の整備により安全性・快適性の向上が期待される。 <p>④バス定時性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕を中心とした交通渋滞によりバスの運行所要時間が変動する状況があり、交通渋滞緩和による定時性の向上と運行所要時間短縮が期待される。 <p>⑤中央道へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子拡幅の整備により、八王子市の中心市街地から中央道八王子ICまでの所要時間が短縮されアクセス性及び利便性の向上が期待される。 <p>⑥緊急輸送道路ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道16号（八王子拡幅区間）は、第一次緊急輸送道路に指定されており、防災関連機関が集積する八王子駅周辺と広域的な緊急輸送を担う中央道や他の防災関連機関が集積するエリアを連絡強化し、災害に強いまちづくりへ寄与する。 ・八王子拡幅の整備により、緊急輸送道路ネットワークが強化され、中央道及び圏央道との連携が機能し、災害時の円滑な支援活動に寄与する。 <p>⑦土地区画整理事業との連携による地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業と連携した放射都市軸の整備により、地域の活性化に寄与する。 ・八王子ICと連絡する放射都市軸の整備により、工業系をはじめとする土地利用の促進に寄与する。 					

関係する地方公共団体等の意見

東京都知事の意見：

- ・ 国道16号は、都心から30～40km圏に位置する首都圏の主要都市間を結ぶ重要な道路である。八王子拡幅区間は、中央道の八王子ICと八王子市の中心部を結ぶため、交通が集中している。
- ・ 残る区間である中央道高架下～中野上町交差点間の4車線化整備は、渋滞の緩和や地域の安全性向上に資することから、必要な予算を確保し、本年4月に公表した平成28年度の開通見通しを遵守されたい。

事業評価監視委員会の意見

事業の継続を承認する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

拡幅区間の4/4車線開通済である左入地区では大型商業施設の進出など郊外型の開発が進んでいる。八王子拡幅事業の沿線では、土地区画整理事業として平成5年度に中野中央土地区画整理事業、平成6年度に宇津木土地区画整理事業、平成10年度に中野西地区土地区画整理事業、平成24年度に八王子インター北土地区画整理事業が事業計画決定されており、まちづくりと連携した整備を進めている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和54年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率94%。(平成26年3月末時点)
平成4年度に八王子IC～左入橋交差点間延長 1.1km、平成11年度に谷野街道入口交差点～八王子IC間延長0.3km、平成26年4月に中野山王地区の延長0.3kmを4/4車線開通。引き続き、残る延長1.0km 2/4車線区間の工事進捗を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地の取得は99%完了。引き続き、全線4車線開通に向けた事業促進を図る。
平成28年度：4車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に務めながら事業を推進する。

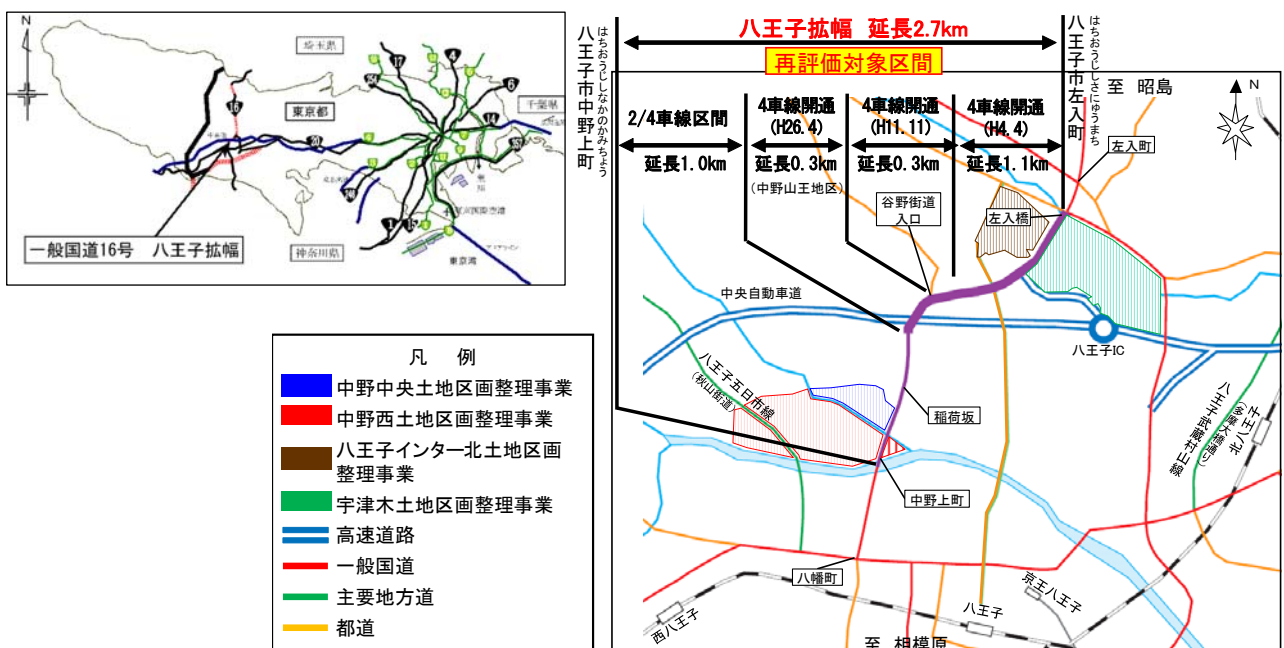
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。